

2025春期しまね短期仕事体験 実施報告アンケート集計結果【受入事業所】

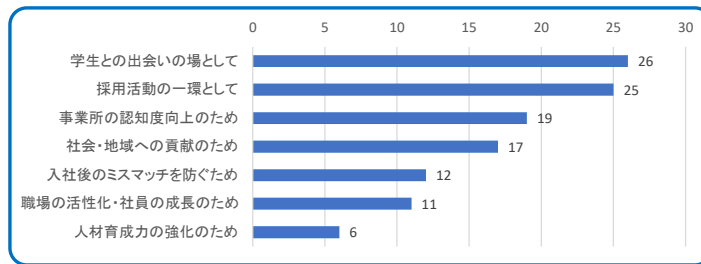
2025春期しまね短期仕事体験受入事業所 実施報告アンケート

受入企業数 : 41社

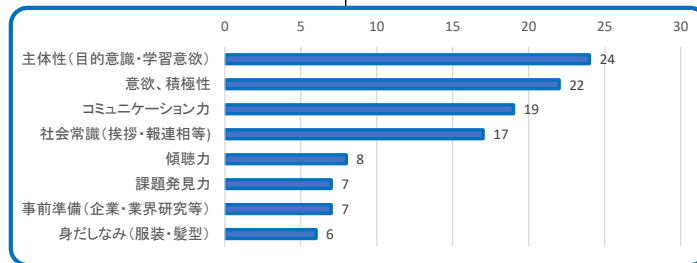
回答: 29社

回答率: 70.7%

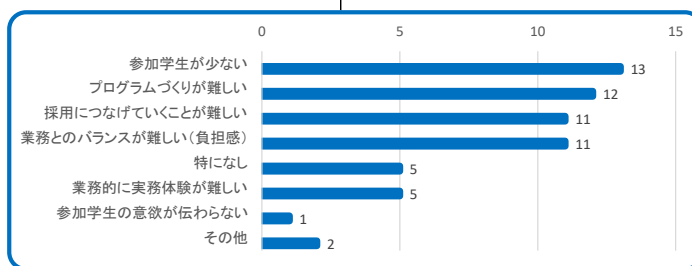
問1 短期仕事体験を受け入れた主な目的として該当するものを選択してください。(複数回答可)



問2 短期仕事体験参加学生に求めていること(複数回答可)

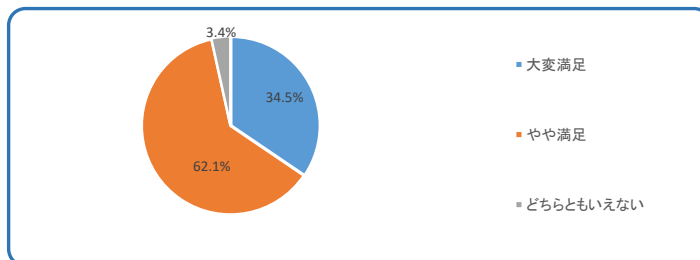


問3 短期仕事体験で学生を受入れるうえでの問題点・課題(複数回答可)



その他の内容: 今回の開催時期での対応が難しい。就活イベントとのバッティング

問4 全体を通した満足度



2025春期しまね短期仕事体験 実施報告アンケート集計結果【受入事業所】

記述1 短期仕事体験で学生を受入れるうえでの問題点・課題(抜粋)

【参加学生が少ない】

- ▶ 学生の目的ややりたいことをできるだけ形にしてあげたいので、話を聞いた後にプログラムを組むと後手になってしまう。社内の体制づくりの問題でもあります。
- ▶ 今回は2名に参加いただき大変嬉しく思っています。たまたま日程がずれてしまいましたが、同日程で複数名の参加があると学生同士のコミュニケーションにもなりありがたいです。
- ▶ 複数の学生さんが参加されると学生同士での意見交換など刺激を受け、理解力も増し、学生さんの成長に繋がると思うが、立地の問題もあり、参加者が少ないのが残念。

【プログラム作り】

- ▶ 学生のニーズとマッチしているか手探りであり、難しく感じています。
- ▶ 出来るだけ建設業のイメージがつたわりやすいカリキュラムを考えますが、現場見学等では体験学習期間中、現場工程が準工や打設の時もあり、調整が難しい。
- ▶ できるだけ実務的な内容での体験をと思っていますが、総務事務など個人情報や会社情報を多く扱う部署についての研修内容については難しいと感じています。しかし、学生さんのアンケートからは工務・総務共に体験をしてみたかったと意見がありました。
- ▶ 可能な限りイベント体験のできる期間で設定したいが、その反面スケジューリングや担当者の負担も大きくなる。また、ワークスペースも限られるため一度に1名の受け入れが限度である。
- ▶ 実務を体験してもらおうとすると、時間がかかるプログラムになったり専門性が高かったり、また、なかなかタイミングよく現場見学ができないなど、懸念事項があります。学生さんにもっと興味を持ってもらえるような内容にするため、再考します。
- ▶ 事前にお伝えした就業プログラムから大幅に変更となったため、業務内容・魅力をきちんと伝えられたか不安。
- ▶ 学生が学んでいることやこれから学ぶ内容を聞き、出来る限り希望に添った内容を盛り込んで実習をしたいと思っていますが、将来についてまだ考えていないためこちらの思いと学生にギャップがあるように感じることがあります。
- ▶ 室内でのルーティン業務が少なく、日々の天候とお客様のご依頼状況に沿って業務が組まれるため、事前に通知していた内容からできる限り乖離しないように社員との作業内容の調整を行うところに苦慮しました。今回は参加された学生の方のイレギュラーを受け入れられる気立てに救われたと思います。今後仕事体験を募集する場合は、自社と学生の双方のためにも、業務内容が変更になる可能性をより冒頭で明示しておこうと思いました。

【社員の負担】

- ▶ 行ってあげたい実習と実際の業務負担のバランスを見ながらプログラムを組むことが難しいため。

記述2 より良い「短期仕事体験」となるように、自社で工夫したことはありますか？

- ▶ 参加学生の興味関心に合わせて、プログラムを調整している。
- ▶ 学生さんの目的や就職活動に対する悩みなどにコミットできるように、集中して作業できる時間と多くの社員の話を聞いてコミュニケーションをとれる時間を同じ割合で設定した。
- ▶ 実際の謎解き企画の案件を、現場確認を10時から形づくる過程を体験していただきました。
1人スタッフを奔走役として常駐する体制を取りました。
- ▶ 初日に、イベントの雰囲気を理解してもらうために、実際のイベント本番の運営に関わっていただきました。
最終日の振り返りでは、写真と手書きのお手紙を用意してプレゼントしました。
- ▶ 各日程、必ず最後に座談会を行いました。そこで学生さんに感想を言ってもらったり、社員同士の会話を聞いて雰囲気伝えたりなど、オンライン開催だったのでなるべく空気感が伝わるように交流を大切にしました。
- ▶ 基本プランに加えて、事前にいただいたコミュニケーションシートでかかげた目標が達成できるように調整を行っています。
- ▶ 事前に過去の実習内容などの資料を送った。日々、振り返りの時間を作った。
- ▶ 現場に完全に任せるのではなく、受入担当者の立場で学生の様子を観察できたため、最終日は弊社の業務内容や仕事への考え方に絡めながら、ご本人の関心のあることや悩んでおられることに少しテコ入れできるよう意識して、仕事体験のまとめのワークショップになるよう心掛けました。(この距離感が適切であったかどうかは人によるため、悩ましい点ではあります…。)

【プログラム】

- ▶ うちの取引先が、飲食店になるため、お客様の店舗でお昼ご飯を食べたこと(弊社の取り扱ってる商品が知れる、営業社員とお客様の関係性を近くで見られる)
- ▶ 建築部のすべての部門を体験していただきました。
- ▶ より実務に近い仕事体験をご用意しました。
- ▶ 事前に参加動機や、特に知りたいことを聞いた。
- ▶ 社会人として必要なポータブルスキルと、専門的なテクニカルスキルをバランスよく伝える。
- ▶ 事前に、興味があることや体験したい内容などを聞いた。
- ▶ 机上での事務仕事よりも、外に出て市民や企業の方と直接関わるといった体験を多く計画した。
- ▶ 身近なチャットボットを自分の企画で作成できるような情報系を学んでいる学生には興味をそそられるような実習内容にいたしました。
- ▶ 職員との交流や業務体験ができるようなプログラム構成を行った。
- ▶ 事前に提出された「コミュニケーションシート」を踏まえて、体験内容を調整した。
- ▶ 学生と直接面談をし、これまで学んできたことやこれから学ぶこと、興味のある仕事など聞き取りを行い、出来るだけ学生の希望に添った形で、且つ弊社の所属部門で行う業務と掛け合わせて実習を行った。
- ▶ 学校で専攻されている内容が生かせるように体験内容を考えました。
- ▶ 事前にスケジュールは組んでいるが、初日に、何がやりたいか、何ができるか話し合いをしてから、実習をすすめている。
- ▶ IT開発体験としてプログラミング経験の有無にかかわらず作業ができる様にノーコードツールでの開発体験としている点。

2025春期しまね短期仕事体験 実施報告アンケート集計結果【受入事業所】

【社員との交流】

- ▶ 実務に近い内容に変更した。グループワークをする機会を増やし、学生同士の交流や意見交換する場を設けた。
- ▶ できるだけ多くの職員や関係者と会話をもつことを心掛けています。
- ▶ グループワークを行った。昼食を食べに行った。
- ▶ 出来るだけ現場社員との距離が近くなるように配慮いたしました。
- ▶ 若手社員との交流会で業界や社内の雰囲気をもり感じれる時間を作っている点。

記述3 全体を通した満足度の理由(抜粋)

【大変満足】

- ▶ 学生が職場の様子や仕事内容を直接確する事ができ、会社の理解度が高まるため。
- ▶ 意欲や目標を持って体験に参加しておられ、お互いにとって良い出会い・体験となりました。
- ▶ 参加してくださった学生さんが以前別のイベントでお会いしたことがあり、そこで当社に興味を持ったからと、再会でき嬉しく思いました。また、選考も希望しているようで、会社理解が深まる良い機会になりました。
- ▶ 実施後に行った学生及び職員へのアンケート結果から、双方とも有意義な機会だったと感じている。特に、学生の満足度は高く、プログラム内容や職員との交流に関する好意的な意見が多かった。職員側も、業務内容を伝えることで改めて自分たちの仕事を再認識する機会となり、採用活動や組織の活性化につながる手ごたえを感じたため。

【やや満足】

- ▶ しっかりと参加目的を持った、意欲の高い学生さんに参加してもらえた。
- ▶ 短期仕事体験の学生の受け入れは初めてでしたので、弊社も勉強になりました。今後の為に、よりよいプログラムを柔軟に組めるような体制づくりを進めていく必要があると感じました。
- ▶ 最終日に学生の方から感想を聞いて、良かった点と課題が良くわかりました。
- ▶ 自社のプログラム作りに関してまだ課題があると感じたため。
- ▶ 素敵な学生と出会えたことには大変満足しておりますが、参加社員複数×4日間に対して参加学生が1名でしたので少し不満でした。
- ▶ 実施日数が悪いのか、募集記事や実習内容が悪いのか、応募数が多かった企業に比べて改善点があればご教示いただきたいです。
- ▶ 3日間、若手社員に実習を担当してもらったが、初めて担当する社員やコミュニケーションが苦手な社員など、学生が必ずしも話やすい環境ではなかったと思います。弊社の実習のやり方について今後のために見直しが必要と思います。
- ▶ 学生には満足していただけたようですが、会社側の対応が十分でなかったため課題が残りました。
- ▶ 学生に教育を行うことで、職員のスキルアップにもつながったと思う。改めて自分たちの仕事内容や役割を見直す良い機会となった。

【どちらともいえない】

- ▶ 学生は一生懸命業務をしていただきましたが、業務を順番どおり行わなかったため難しい業務に思われた可能性がある。